

ヤマトケシマグソコガネ *Psammodius japonicus* Harold

【選定理由】

本種を含む海浜の砂浜に依存する甲虫は、砂浜の減少や護岸の影響を非常に強く受ける。県内の砂浜は改修が進み、また砂の流出による砂浜の縮小によって生息基盤が脅かされている。

【形態】

体長 3.5～4.5mm。光沢の強い黒色。前胸背板は強い点刻を疎らに散布し、側縁の刺毛を欠く。上翅上溝は細く、間室は幅広い。肩歯を欠く。

【分布の概要】

【県内の分布】

豊橋市、西尾市、常滑市、知多郡美浜町から記録がある。

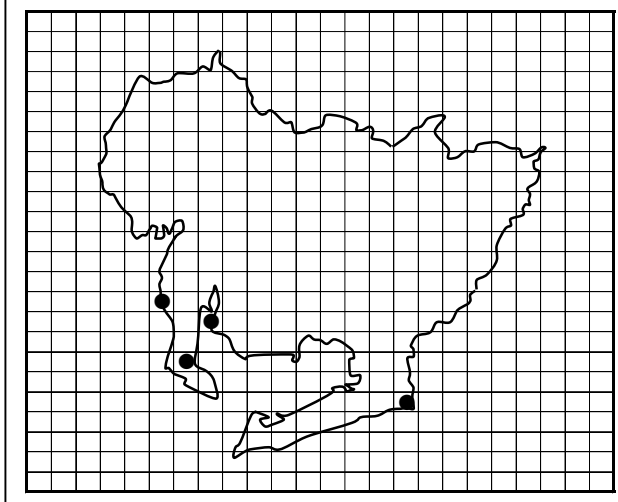
【国内の分布】

北海道、本州、隠岐諸島、四国、九州、五島列島、対馬。

【世界の分布】

日本の固有種である。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

海浜の砂地に生息する。他のケシマグソコガネ類のように、植物の根際より見いだされることは少なく、海藻や流木などの漂着物の下から見つかる。

【現在の生息状況／減少の要因】

豊橋市、西尾市、知多郡美浜町では、2018年の調査で生息が確認された。

【保全上の留意点】

砂浜に打ち上げられた海草や流木下に生息する種であるので、こうした漂流物が海岸清掃などで撤去されないよう、海岸清掃の際の教育啓蒙も必要であろう。

【関連文献】

川井信矢ほか, 2005. 日本産コガネムシ上科図説 第1巻 食糞群 1: 166. 昆虫文献六本脚.
藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録: 58-59. コガネムシ研究会.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)